



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日  
東

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所  
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	60,497	△11.8	992	66.1	766	△1.0	640	△28.9
2020年3月期第2四半期	68,575	△8.8	597	△48.5	774	△43.4	900	△15.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,442百万円(—%) 2020年3月期第2四半期 △1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第2四半期	15	33	—	—
2020年3月期第2四半期	21	55	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	62,492	50.8	31,991	50.8	—	—
2020年3月期	65,628	46.8	30,982	46.8	—	—

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,735百万円 2020年3月期 30,727百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2020年3月期	—	44.00	—	12.00	56.00	—
2021年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	125,000	△8.8	1,400	△5.6	1,100	△36.0	800	△61.8	19	16

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	41,780,000株	2020年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	16,773株	2020年3月期	16,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	41,763,227株	2020年3月期2Q	41,763,227株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、世界経済ならびに日本経済は経済活動に多大な影響が発生しており、極めて厳しい状態が続いています。中国経済は回復の傾向が出てきているものの、感染の収束の見通しが立っていません。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、604億9千7百万円と前年同期の11.8%にあたる80億7千7百万円の減収、営業利益は9億9千2百万円と前年同期の66.1%にあたる3億9千5百万円の増益、経常利益は、7億6千6百万円と前年同期の1.0%にあたる7百万円の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については6億4千万円と前年同期の28.9%にあたる2億5千9百万円の減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は15.33円となりました。

主な要因については、新型コロナウイルス感染症の影響が取扱商品の需要や事業活動に多大に影響したことによるものです。

- ・売上高については、自動車・電池材料事業は堅調に推移し、第二事業は前年並みとなったものの、第一ならびに第三事業が需要減等の影響により低調となり減収となりました。
- ・営業利益については、売上高の減少に伴い売上総利益は減少したものの、事業活動制限の影響等により販売費及び一般管理費が大幅に減少したため増益となりました。
- ・経常利益については、営業利益は増加したものの、自動車業界不振の影響等により持分法適用会社において投資損失を計上するとともに、投資先の業績悪化による受取配当金の減少等により前年並みとなりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期は政策保有株式の大幅な縮減による投資有価証券売却益による特別利益の計上があったため、その反動により減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業部門を分割し、第一事業部門と電池材料事業部に組織変更を行いました。

当社グループは上記組織構造の変更に伴い業績管理区分を変更し、報告セグメントを「第一事業」「第二事業」「第三事業」「自動車・電池材料事業」といたしました。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

なお、セグメントごとの主な事業、事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	事業内容及び主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 樹脂・難燃剤事業 医薬関連開発事業	レアアース・レアメタル、環境関連 合成樹脂・難燃剤 原薬・医薬中間体
第二事業	石油製品事業 石油ビジネス開発事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤 海外事業開発
第三事業	高機能素材事業 機能建材事業	化学品原料、印刷材料、合成樹脂加工品 機能建材
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、98億1千5百万円と前年同期の17.9%にあたる21億3千5百万円の減収、セグメント利益につきましては、4千5百万円と前年同期の12.9%にあたる6百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、需要低迷により資源関連及び環境関連共に低調に推移しました。
- ・樹脂・難燃剤事業は、主に自動車関連の需要低迷により樹脂及び難燃剤共に低調に推移しました。
- ・医薬関連開発事業は、総じて低調に推移しました。

② 第二事業

売上高は、189億7千2百万円と前年同期の4.5%にあたる8億9千3百万円の減収、セグメント利益につきましては、5億9千1百万円と前年同期の40.8%にあたる1億7千1百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・石油製品事業は、国内の潤滑油及び添加剤は前年並みに推移しましたが、中国向けベースオイル・添加剤は堅調に推移しました。また、中国潤滑油事業は建機向け純正オイルを中心に堅調に推移しました。
- ・石油ビジネス開発事業は、アジア域内のベースオイル需要が持ち直し回復基調となりました。
- ・全体としては、売上高は前年同期を下回ったものの、販売管理費の減少もありセグメント利益は増益になりました。

③ 第三事業

売上高は、287億3千6百万円と前年同期の16.5%にあたる56億6千9百万円の減収、セグメント利益につきましては、4億7千1百万円と前年同期の8.0%にあたる3千4百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高機能素材事業は、加工フィルムは好調に推移したものの、化学品原料及び合成樹脂加工品は低調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材は首都圏の建設需要が減少したため、また防水資材は天候不順及び一部商品の取り扱いを中止したため、共に低調に推移しました。
- ・全体としては、売上高は低調となったものの、販売管理費の減少もありセグメント利益は増益になりました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、29億7千3百万円と前年同期の36.5%にあたる7億9千4百万円の増収、セグメント損失が、3億8千2百万円と前年同期から2億1千7百万円の減益（前年同期は1億6千5百万円の損失）になりました。

これは主に以下の通り推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社において損失を計上したことにより減益となりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料の需要が持ち直したものの、市況下落の影響により一部取引において損失が発生しました。
- ・全体としては、売上高は電池材料の需要の回復により伸長しましたが、セグメント利益は減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前年度末の4.8%にあたる31億3千6百万円減少の624億9千2百万円となりました。

流動資産は、主に売上債権やたな卸資産の減少により、前年度末の7.7%にあたる39億2千1百万円減少の468億2千9百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産及び無形固定資産の増加により、前年度末の5.3%にあたる7億8千5百万円増加の156億6千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前年度末の12.0%にあたる41億4千5百万円減少の305億1百万円となりました。

流動負債は、主に仕入債務や短期借入金の減少により、前年度末の15.4%にあたる48億2千2百万円減少の265億1千5百万円となりました。

固定負債は、主に長期借入金の増加により、前年度末の20.5%にあたる6億7千6百万円増加の39億8千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前年度末の3.3%にあたる10億9百万円増加の319億9千1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は50.8%となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,985	9,809
受取手形及び売掛金	35,039	31,003
商品	7,517	5,549
その他	1,362	612
貸倒引当金	△152	△145
流動資産合計	50,751	46,829
固定資産		
有形固定資産	1,092	1,219
無形固定資産	133	265
投資その他の資産		
投資有価証券	12,554	13,219
その他	1,213	999
貸倒引当金	△116	△42
投資その他の資産合計	13,651	14,177
固定資産合計	14,877	15,662
資産合計	65,628	62,492
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,201	22,001
短期借入金	4,493	3,184
1年内返済予定の長期借入金	500	—
未払法人税等	660	169
賞与引当金	602	456
受注損失引当金	259	150
その他	620	552
流動負債合計	31,337	26,515
固定負債		
長期借入金	50	550
役員退職慰労引当金	30	—
退職給付に係る負債	1,264	1,265
その他	1,964	2,170
固定負債合計	3,309	3,986
負債合計	34,646	30,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,058	23,279
自己株式	△4	△4
株主資本合計	29,840	30,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,753	2,537
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△286	△329
退職給付に係る調整累計額	△579	△532
その他の包括利益累計額合計	887	1,673
非支配株主持分	254	255
純資産合計	30,982	31,991
負債純資産合計	65,628	62,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	68,575	60,497
売上原価	63,680	56,218
売上総利益	4,895	4,279
販売費及び一般管理費	4,297	3,286
営業利益	597	992
営業外収益		
受取配当金	91	47
持分法による投資利益	246	—
その他	29	48
営業外収益合計	368	95
営業外費用		
持分法による投資損失	—	201
その他	191	119
営業外費用合計	191	321
経常利益	774	766
特別利益		
投資有価証券売却益	397	—
その他	3	—
特別利益合計	401	—
特別損失		
投資有価証券評価損	23	11
その他	0	5
特別損失合計	23	16
税金等調整前四半期純利益	1,152	750
法人税、住民税及び事業税	384	204
法人税等調整額	△144	△105
法人税等合計	240	98
四半期純利益	911	651
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	900	640

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	911	651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△385	782
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△461	74
退職給付に係る調整額	30	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△98	△110
その他の包括利益合計	△913	791
四半期包括利益	△1	1,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10	1,426
非支配株主に係る四半期包括利益	9	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,950	19,865	34,406	2,178	68,400	175	68,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	55	12	—	115	2	118
計	11,998	19,920	34,418	2,178	68,516	177	68,694
セグメント利益 又は損失(△)	51	419	436	△165	742	△24	718

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	742
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△24
セグメント間取引消去	47
全社費用(注)	8
四半期連結損益計算書の経常利益	774

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,815	18,972	28,736	2,973	60,497	—	60,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	32	12	—	88	—	88
計	9,858	19,004	28,749	2,973	60,586	—	60,586
セグメント利益 又は損失(△)	45	591	471	△382	725	—	725

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、硝子製品事業を含んでおりますが、当事業セグメントは関係会社の清算を結了しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	725
「その他」の区分の利益又は損失(△)	—
セグメント間取引消去	△21
全社費用(注)	63
四半期連結損益計算書の経常利益	766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業部門を分割し、第一事業部門と電池材料事業部に組織変更を行いました。

当社グループは上記組織構造の変更に伴い業績管理区分を変更し、報告セグメントを「第一事業」「第二事業」「第三事業」「自動車・電池材料事業」といたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。